



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

東・名

上場会社名 株式会社ヨシックスホールディングス 上場取引所
 コード番号 3221 URL <https://yossix.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室室長 (氏名)松岡 龍司 (TEL)052(932)8431
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	6,140	—	△2,166	—	2,613	—	1,669	—
2021年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,669百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第3四半期	円 銭 161.78	円 銭 161.41
2021年3月期第3四半期	—	—

注)当社は前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2022年3月期第3四半期	百万円 12,410	百万円 8,061	% 65.0	円 銭 780.96
2021年3月期	11,269	6,391	56.7	619.18

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,061百万円 2021年3月期 6,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)芝産業株式会社 除外 1社 (社名)ー

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	10,322,200株	2021年3月期	10,322,200株
2022年3月期3Q	309株	2021年3月期	309株
2022年3月期3Q	10,321,891株	2021年3月期3Q	10,321,388株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症による影響が続いており、2021年4月に発出されました緊急事態宣言が2021年9月30日で全面的に解除されましたが、2021年10月には各都道府県独自の営業時間短縮等の要請が発出され、経済活動が抑制される状況が続きました。その後、各種政策やワクチン接種普及により感染者数は一時期減少しましたが、変異株の感染が再び広がりつつあるなど、未だ先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、各都道府県の要請に従いつつ、新規出店及び業態転換を実施いたしました。

飲食事業の主力業態である「や台ずし」業態は新規出店5店舗を実施し、店舗数が280店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の86.2%を占め、当業態の売上高は5,403百万円となりました。また、均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、店舗数が34店舗となり、総店舗数の10.5%を占め、当業態の売上高は513百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店5店舗、退店7店舗を実施し、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は325店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,140百万円、営業損失は2,166百万円、経常利益は2,613百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,669百万円となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は12,410百万円、負債は4,349百万円、純資産は8,061百万円であり、自己資本比率は65.0%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ1,090百万円増加し、8,998百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,735百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、3,411百万円となりました。これは主に子会社株式の取得により、のれんが230百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ537百万円減少し、3,446百万円となりました。これは主に未払消費税等が582百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、903百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が57百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ1,669百万円増加し、8,061百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,669百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予測につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難な為、未定としております。

新型コロナウイルス感染症対策のための政府及び地方自治体からの外出自粛要請、夜間の営業時間短縮要請及び酒類提供禁止要請は当社グループの業績に多大な影響を与えます。業績予想につきましては開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,299,509	8,034,691
売掛金	270,710	350,467
原材料及び貯蔵品	137,842	177,704
その他	1,200,506	435,810
流動資産合計	7,908,568	8,998,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,027,807	1,994,787
その他	507,504	495,063
有形固定資産合計	2,535,311	2,489,851
無形固定資産		
のれん	—	230,009
その他	3,559	4,060
無形固定資産合計	3,559	234,069
投資その他の資産	821,575	687,604
固定資産合計	3,360,447	3,411,525
資産合計	11,269,016	12,410,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,871	1,060,912
1年内返済予定の長期借入金	130,405	124,992
未払法人税等	801,949	764,365
その他	2,644,118	1,495,762
流動負債合計	3,983,343	3,446,032
固定負債		
長期借入金	260,432	236,019
役員退職慰労引当金	421,443	479,386
その他	212,621	187,740
固定負債合計	894,496	903,145
負債合計	4,877,839	4,349,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,989	335,989
資本剰余金	364,094	364,094
利益剰余金	5,690,751	7,360,647
自己株式	△625	△625
株主資本合計	6,390,209	8,060,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966	914
その他の包括利益累計額合計	966	914
純資産合計	6,391,176	8,061,020
負債純資産合計	11,269,016	12,410,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	6,140,030
売上原価	2,129,510
売上総利益	4,010,520
販売費及び一般管理費	6,177,488
営業損失(△)	△2,166,968
営業外収益	
協賛金収入	195,920
雇用調整助成金	1,608,324
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	2,958,801
その他	17,811
営業外収益合計	4,780,857
営業外費用	
支払利息	21
減価償却費	65
その他	0
営業外費用合計	87
経常利益	2,613,802
特別利益	
受取補償金	28,000
その他	3,260
特別利益合計	31,260
特別損失	
固定資産除却損	1,419
減損損失	5,091
特別損失合計	6,511
税金等調整前四半期純利益	2,638,551
法人税、住民税及び事業税	759,235
法人税等調整額	209,420
法人税等合計	968,655
四半期純利益	1,669,895
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,669,895

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,669,895
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△51
その他の包括利益合計	△51
四半期包括利益	1,669,844
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,669,844

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、店舗の休業及び営業時間の短縮等により業績は大きく影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大が徐々に収束し、収束後には店舗の業績が当該感染症の拡大前と同水準にまで回復すると想定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 芝産業株式会社

事業の内容 店舗内装の設計・施工・管理

② 企業結合を行った理由

株式会社ヨシオカ建装（以下「ヨシオカ建装」という。）が担う建装事業は、当社祖業であるとともに、株式会社ヨシックスフーズの「スピーディーかつ低コストの出店戦略」を支える重要な役割を担っており、当社としては、建装事業の強化、拡大は飲食チェーンを中核事業とする当社グループ全体の企業価値向上に大きく寄与すると考え、M&Aの手法を含めた強化、拡大を検討して参りました。

芝産業株式会社（以下「芝産業」という。）は、神奈川県小田原市にて1978年に設立後、一貫して店舗内装に係る設計・施工・管理事業を営む、ヨシオカ建装と同業の建装業者であり、大手飲食チェーンを中心とした優良な顧客を有し、首都圏を含む関東地区において数多くの施工実績を持つ業界老舗企業です。芝産業のヨシックスグループへの参画により、当社グループ外顧客との取引拡大によるグループ売上、利益の増大を図るとともに、飲食チェーンとしての当社特色である「スピーディーかつ低コストの出店」を首都圏エリアにおいても一層レベルアップさせることが可能となり、グループ全体の価値向上に寄与するものと考えております。

③ 企業結合日

2021年10月29日（株式取得日）

2021年10月31日（みなし取得日）

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金（未払金を含む）	400,000千円
取得原価		400,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

財務及び法務に関する調査費用及び仲介手数料 27,000千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

230,009千円

②発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却